

記事を読んで、問いに答えなさい。

2022年2月6日朝刊中部版

義農 清兵衛の胸像除幕

—— 藤枝・高柳神社に建立 ——



飢餓にあえぐ農民を救済した石上清兵衛の功績をたたえる胸像
＝藤枝市の高柳神社

飢餓農民を救済功績伝承

藤枝市高柳の住民らでつくる「義農 石上清兵衛顕彰会」などは4日、地元の高柳神社の境内に建立した清兵衛の胸像の除幕式を行った。江戸時代、命を賭して飢餓にあえぐ農民を救済した清兵衛の功績を伝え、郷土の発展につなげていく。

同顕彰会によると、清兵衛は高柳地域の庄屋だった。当時、地域を治めていた田中藩の

年貢取り立てが厳しかった上、不作が続き、農民は困窮していた。清兵衛は藩の役所で年貢の減免を直訴し、引き換えに処刑されたという。今年は没後330年にあたる。建立した胸像は、台座も入れて高さ約2メートル。周辺に七つの石を敷き、高柳7町内会の協力を表現した。彫刻家松田裕康さんが制作し、台座の題字は北村（藤枝支局・岩下勝哉）の勇気ある行動に対し、感謝する気持ちを地域でつないできた。胸像をシンボルとして先人の思いを受け継いでいく」と言葉に力を込めた。

正平市長が揮毫（きごう）した。除幕式には地元自治会役員のほか、市や学校関係者ら約60人が出席した。同顕彰会の谷沢靖策会長は「清兵衛

①現在の藤枝市の高柳地域で、江戸時代に庄屋だった人物とは誰か。記事中から漢字5字で抜き出さなさい。

()

②前問の人物の胸像が地元の高柳神社の境内に建立された理由とは何か。次の語句を必ず使って、説明しなさい。
＜田中藩、減免＞

[]

③19世紀前半に、貧民救済のために立ち上がった人物の一人に大塩平八郎がいる。大塩平八郎が当時学んでいた陽明学とは、どのような学問か。次の語句を必ず使って、説明しなさい。
＜王陽明、知行合一＞

[]

年 組 名前

記事を読んで、問いに答えなさい。

解答例

2022年2月6日朝刊中部版

義農 清兵衛の胸像除幕

—— 藤枝・高柳神社に建立 ——



飢餓にあえぐ農民を救済した石上清兵衛の功績をたたえる胸像
＝藤枝市の高柳神社

飢餓農民を救済功績伝承

同顕彰会によると、清兵衛は高柳地域の庄屋だった。当時、地域を治めていた田中藩の家松田裕康さんが制作し、台座の題字は北村（藤枝支局・岩下勝哉）

藤枝市高柳の住民らでつくる「義農 石上清兵衛顕彰会」などは4日、地元の高柳神社の境内に建立した清兵衛の胸像の除幕式を行った。江戸時代、命を賭して飢餓にあえぐ農民を救済した清兵衛の功績を伝え、郷土の発展につなげていく。

年貢取り立てが厳しかった上、不作が続き、農民は困窮していた。清兵衛は藩の役所で年貢の減免を直訴し、引き換えに処刑されたという。今年は没後330年にあたる。建立した胸像は、台座も入れて高さ約2メートル。周辺に七つの石を敷き、高柳7町内会の協力を表現した。彫刻家松田裕康さんが制作し、台座の題字は北村（藤枝支局・岩下勝哉）の勇氣ある行動に対し、感謝する気持ちを地域でつないできた。胸像をシンボルとして先人の思いを受け継いでいく」と言葉に力を込めた。

正平市長が揮毫（きごう）した。除幕式には地元自治会役員のほか、市や学校関係者ら約60人が出席した。同顕彰会の谷沢靖策会長は「清兵衛

①現在の藤枝市の高柳地域で、江戸時代に庄屋だった人物とは誰か。記事中から漢字5字で抜き出ささい。

(石上清兵衛)

②前問の人物の胸像が地元の高柳神社の境内に建立された理由とは何か。次の語句を必ず使って、説明しなさい。
＜ 田中藩、減免 ＞

(例)江戸時代に現在の高柳地域を治めていた田中藩が、不作で飢餓にあえいでいた農民に対しても厳しい年貢の取り立てをしていたので、清兵衛が藩の役所で年貢の減免を直訴し農民を救済しようとした功績を後世に伝えるため。

③19世紀前半に、貧民救済のために立ち上がった人物の一人に大塩平八郎がいる。大塩平八郎が当時学んでいた陽明学とは、どのような学問か。次の語句を必ず使って、説明しなさい。
＜ 王陽明、知行合一 ＞

(例)16世紀前半の中国の明の時代に王陽明がはじめた儒学の一派で、知識を得ることと実際に行動していくことの両方の大切さを知行合一という考え方でまとめた学問。

年 組 名前

作問者: NIEアドバイザー 伊藤大介(静岡聖光学院中学・高校 教諭)

(中学校～高校/社会、総合)